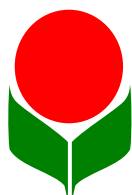


平成28年度「沖縄県青少年フレンドシップ九州」

テーマ「九州に伝え、九州から学ぶ」



期 間 : 平成28年8月2日(火)～8月6日(土)【4泊5日】 訪問地:福岡県、大分県

参加人員 : 158人【小学5・6年生 106人、中学生 20人、高校生 16人、役職員 16人】

活動内容 : 1日目:○結団式 ☆キャンドルのつどい 2日目:✧自然体験(トレジャーハンティング)

3日目:◇九州国立博物館見学 ♡太宰府天満宮参拝 ☆号車別創作発表会

4日目:大分県児童生徒と交歓交流会 ★お別れのセレモニー

5日目:♡感想文・アンケート作成 ・買い物 ●解団式

☆ 参加団員の感想文 ☆

『フレンドシップで学んだこと』 3班 嘉数小学校 5年 仲本 樹龍

僕は、フレンドシップ九州では、初めて自分達で九州に行き、それも4泊5日も泊まりました。そこで学んだことは、仲間と協力し合うことと、自分勝手なことをしないということです。このことを学んだのは、一人ではできないことでも仲間と協力し合えばできたからです。もう一つは、自分勝手なことをして仲間に迷惑をかけたかたり集団に迷惑をかけてしまったりしたからです。このようなことを学んだので、学校や生活面ではこのことを活かしがんばって行きたいです。そして、学んだことを活かすだけでなく、また、フレンドシップ九州でまだ悪い点がなかったか振り返り、今後の生活で活かしたいです。このフレンドシップに参加してよかったです。

『研修で学んだこと』 8班 寄宮中学校 2年 仲松 織玲

私はフレンドシップに参加して、副班長という班長をサポートする役割を任されました。前日まで、「ちゃんと副班長としてやって行けるだろうか。」「会ったこともない人達と仲良く過ごせるだろうか。」と、たくさんの不安がありました。でも、研修や共同生活をする中でその不安はなくなり、「楽しい」という気持ちがとても強くなりました。班長だけが頑張るのではなく、一人一人の自覚、そして集団生活における協調性が大事だと思いました。また、この研修で、サポートする人の大切さを改めて感じさせられました。

この研修で学んだことを学校生活や部活動などで活かして行きたいと思います。班長を始めとする8班のみんな、そして先生方、本当にありがとうございました



結団式 (那覇空港)



キャンドルのつどいの事前準備



福岡市立背振少年自然の家入所式



キャンドルのつどい



福岡市脊振山にてトレジャーハンティング体験

『友情関係を築きあげたフレンドシップ』 13班 沖縄尚学中学校 2年 喜友名 孝範

せみの鳴く声、爽やかに吹く風。ここは福岡県背振少年自然の家です。僕たちがここにいる理由は、沖縄県青少年フレンドシップ in 九州で来ているからです。で、初日に背振に来ました。ここでは、トレジャーハンティングをしました。背振の森の中で宝の木を探すという、とても自然に関わるゲームでした。途中、班員のほとんどが疲れていたけれど、みんな最後までしっかり歩いていました。そして、班全員の絆が深まりました。2日目の夜、福岡市内のホテルに宿泊しました。さすが、ホテルです。飯もうまい、風呂にサウナもある、寝ごちも良く、最高でした。3日目、福岡県太宰府市にある太宰府天満宮と九州国立博物館に行きました。僕は歴史が大好きなのでとても楽しみでした。博物館では、いろいろな時代の道具や国宝を見ることができてとてもうれしく思いました。中でも、火縄銃を持ったときは、本当にうれしく興奮しました。太宰府天満宮でもいろいろなことができてよかったです。4日目、大分県子ども会育成会の皆様と交歓会をしました。みんなとても元気のある子ばかりで、関わりやすい人たちばかりでした。その中で、僕たちの班に来てくれたのは、中学1年の谷ロー護さんでした。とてもイケメンですてきな人でした。お昼ご飯を一緒に食べ、アスレチックで遊びました。しかし、遊ぶ時間は過ぎるのが早く、とても短く感じました。別れの時、最後に握手をして別れました。

そしてその日の夜…とうとうお別れセレモニーの時間が来てしまったのです。班長への感謝の言葉を言って、モニターで今までの写真・動画を見ました。とてもすばらしい映像が見られました。ありがとうございました。そして、班長の感想を聞いた後、僕が「ちょっと待ったあ〜」と言って色紙を渡しました。とても緊張しました。最後は『みんながみんな英雄』と、『オワリはじまり』を歌って終わりました。この5日間、とても有意義な研修になりました。また次もこのような機会があれば行ってみたいです。



大分県のと友達との交歓交流会でエイサーを披露

交歓カード（名刺）交換でお友達に！

『一生の宝物』 2班 南部商業高校 3年 津波 ももこ

今回、私は総班長として参加しました。団員全員をうまくまとめ、ひっばっていけるだろうか・・・等不安は尽きませんでした。

本研修が始まり、たくさんの壁にぶつかりました。班の指揮がとれていても、総班長としての視野が狭く、全体の指揮をとることが難しかったりと、完全に己の力不足だったと思います。しかし、5日間過ごしていく中で、人をまとめる力や、仲間という一生の宝物を手に入れることができました。私は総班長としての仕事もあり、2班の面倒をずっとみることが難しかったけれど、私がいなくても副班長を中心に動ける班にまで成長してくれてとても嬉しかったです。おっちょこちょいな私についてきてくれてありがとう！この研修で得た「一生の宝物」を胸に、夢に向かって頑張っていきたいです。絶対に忘れることのできない夏の思い出になりました。素敵なアドバイスをたくさん下さった役職員の方達にも、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました！皆に出会えて幸せです。



大分県児童生徒との交歓交流会（大分県立香々地青少年の家にて）